製品安全データシート

製品名 ほう酸塩 pH 標準粉末(pH9.18)

作成日 2013 年 2 月 28 日
改訂日 2013 年 4 月 19 日

1 製品及び会社情報

製品名	ほう酸塩 pH 標準粉末(pH9.18)
会社名	京都電子工業株式会社
住所	京都市南区吉祥院新田二の段町 68
担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4121
FAX 番号	075-691-4127
緊急時の電話番号	075-691-4125
整理番号	GHS-0113
品目コード	12-04816-06

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分 2
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分 1
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分 1、区分 2
環境に対する有害性	水生毒性(急性)	区分外
	水生毒性(慢性)	区分外

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語 危険

危険有害性情報　皮膚刺激性
強い眼刺激
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
腎臓、神経系、呼吸器の障害
長期または反復暴露による腎臓、神経系、呼吸器の障害
長期または反復暴露による精巣の障害のおそれ

注意書き

安全対策　取扱い後はよく手を洗うこと。保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置　皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

保管　施錠して保管すること。

廃棄　内容物や容器を法令に従って廃棄すること。

3　組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分　単一製品

化学名（一般名）　四ほう酸ナトリウム十水和物

成分名	含有量	化学式（構造式）	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	CAS No.
四ほう酸ナトリウム十水和物	99.0%以上	Na2B4O7・10H2O	1-69	1303-96-4

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物　なし

4　応急措置

吸入した場合　直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。

皮膚に付着した場合　直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。

眼に入った場合　直ちに流水で十分に洗い流す。

飲み込んだ場合　直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせ、医師の処置を受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状　吸入した場合：咳、息切れ、咽頭通、鼻血

応急措置をする者の保護　救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用すること。

5　火災時の措置

消火剤	この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消化剤	特になし
特定の消火の方法	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6　漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を避難させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収、除去	飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7　取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	皮膚に付けたり、粉じんを吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
注意事項	みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取扱う。
保管	
保管条件	
適切な保管条件	容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等

8　暴露防止及び保護措置

設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。
管理濃度	作業環境評価基準(2005)未設定
許容濃度(暴露限界値)	
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH　2009	2 mg/m3　(TLV-TWA) 6 mg/m3　(TVL-STEL)
保護具	
呼吸器の保護具	必要に応じて防じんマスクを着用する。
手の保護具	不浸透性保護手袋
眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡

9　物理的及び化学的性質

物理的状態	白色の結晶または結晶性粉末
臭い	無臭
pH	9.18　(25℃)
融点・凝固点	75℃
沸点	分解　(100℃)

引火点	不燃性である
発火点	データなし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	1.72g/mL (20℃)
溶解性	水に対する溶解性:4.8% (20℃) 有機溶媒に対する溶解性:エタノールに難溶
オクタノール/水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし

10 安定性及び反応性

安定性	通常条件で安定である。
危険有害性反応可能性	酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	日光、熱
混食危険物質	酸、酸化剤
危険有害性のある分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素及び水を除く)	データなし

11 有害性情報

急性毒性

経口	区分外	
	ラット	LD50 4450 mg/kg (計算値)
	マウス	LD50 2000 mg/kg
	ヒト	LDLO 703 mg/kg
	モルモット	LD50 5330 mg/kg
経皮	区分外	
	ウサギ	LD50 >10000 mg/kg
吸入(蒸気)	データ不足のため分類できない。	
吸入(粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。	

皮膚腐食性・刺激性	皮膚に対して刺激性がある。(区分 2) 4 時間暴露試験ではないが、動物を用いた皮膚刺激性試験結果、軽度から中等度の皮膚刺激性を示す等の記述がある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼に対して強い刺激性がある。(区分 2A) ウサギ、ラットを用いた眼刺激性試験結果、結膜白濁、結膜肥厚、結膜が水疱になる。8-21 日間で回復する角膜刺激、間の炎症等の記述がある。
呼吸器感作性または皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	区分外 ACGIH では A4(ヒト発がん性に分類できない物質)に分類している。

生殖毒性	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い（区分 2） 一般毒性の記述はないが、精子形成に異常がみられている。
特定標的臓器・全身毒性−単回暴露	腎臓、神経系、呼吸器の障害（区分 1） ヒトについては、腎臓障害、中枢神経系の抑制、血管虚脱、呼吸器疾患、肺疾患、胸部 X 線映像の異常、呼吸器への刺激性がある。
特定標的臓器・全身毒性−反復暴露	長期または反復暴露による神経系、腎臓、呼吸器の障害（区分 1） 長期または反復暴露による精巣の障害のおそれ（区分 2） ヒトについては、全身及び局所的な交差性運動発作、易刺激性、尿細管腫脹や顆粒変性、呼吸器疾患、肺疾患、胸部 X 線映像の異常、慢性気管支炎等の記述、動物実験については、精巣全体の委縮等の記述がある。
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。

12　環境影響情報

移動性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
生態毒性	
魚毒性	
水生毒性（急性）	区分外
水生毒性（慢性）	区分外
	魚類（ゼブラフィッシュ）　LC50 501.0 mg/L/96H

13　廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物	都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
容器	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14　輸送上の注意

国際規制

国連分類（Class or Div.）	分類基準に該当しない

使用者が構内若しくは構外の輸送若しくは輸送手段に関連して知る必要がある、又は従う必要がある特別の安全対策

運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15　適用法令

毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	法第 57 条の 2、施行令 18 条の 2 別表第 9 名称等を通知すべき危険物及び有害物　番号 544
化学物質管理促進法	法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1 第一種指定化学物質番号 405 [平成 21 年 9 月 30 日以前:第一種指定化学物質　番号 304]
消防法	該当しない
水質汚濁防止法	施行令第 2 条有害物質

土壌汚染対策法　　　施行令第 1 条特定有害物質

１６　その他の情報

引用文献

製品安全データシート 32127 四ほう酸ナトリウム十水和物（関東化学株式会社）

記載内容の問い合わせ先

担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4125
FAX 番号	075-691-9536

※ 記載された内容は、一般的に入手可能な情報やメーカー所有の知見によるものですが、すべての資料及び文献を調査したものではなく、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。従って、ここに記載した製品の取扱い又は保管時における事故に対して責任を保証するものではありません。又、新しい知見によって改定されることがあります。

※ 記載された注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、充分な安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上